

1 単元名 自動車産業のさかんな地域

2 本時のねらい

自動車が、消費者のどのような要望を叶えたものであるのか、それによって消費者の生活にどのような変化を与えたのかを知ることができる

3 本時における学ぶ楽しさ

身近な自動車がある生活について、自動車がなかったころの生活と比べてどのような変化をもたらしたのか、それは消費者の願いとどうかかわっているのか資料や自らの生活体験から、話し合う楽しさ

(3) 展開

時	学習活動と子どもの姿	学ぶ楽しさを味わうための手だて
5	<p>1. 課題を知る ○今日の課題はなにだった？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車と消費者の関係について考えます。 ・自動車は消費者の生活とどうかかわっているかです。 <p><わたしたちの生活は 車の使用によってどうか変わったか></p>	<p>(1)問題意識をもち、事象の示す関連を明確にさせる</p> <p>板書で事実と考えを分けて書くようにし、色チョークで囲むことで、関連する事柄をひとまとまりにとらえられるようにする。</p> <p>(3)思考過程をふり返り 自らの変化を意識させる</p> <p>関連を矢印や線でつないだり、具体を示す資料を併記したりして、自分の考えが根拠と共に表せるようにする。</p> <p>(2)資料の共有化によって共に問題解決に向かわせる</p> <p>他の子どもの判断について事実を示す多くの資料からとらえ直しができる話し合いを進め、課題に対する考えを多くの根拠や視点から考えられるようにする。</p>
30	<p>2. 自分の立場を明確にして、考えを発表する ○どんな資料などから、考えをもっただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書5ページの自動車保有台数のグラフから、多くの人が自動車をもつようになったことがわかります。 ・付け加えて、2011年には100人中60人が保有しているから、半数以上の人が保有しているとわかります。 ・前の人とちょっと違うのだけど、100人には子どもやお年よりも入っているだろうから、主に運転する大人は100人中で60人より多いと思います。 ・自動車を多くの人がもてば、近所へ買い物に行くにも車に乗って、渋滞がひどくなったんじゃないかな。 ・ぼくのうちには、大人1人に1台車があるよ。みんな仕事に行く時には車で行っているよ。 ・車にたくさん乗ると、運動不足な人が増えたと思います。 ・自動車が多く走ることによって、交通事故が増えました。 ・前の人と反対なんだけど、教科書のグラフでは増えたり、減ったりしているのが不思議です。 ・減るのはシートベルトをするようになったからだと思います。お父さんがずっと前はしていなかったって言っていたから。 	
10	<p>3. まとめる ○今日の学習で得た、考えをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちの生活を見ると、身の回りでものすごくたくさんの車を見ることができる。それくらい生活に身近で必要なものになっている。 	
<p>わたしたちの生活は、自家用車やバスの使用によって便利になったけれど、それに伴って交通事故の危険性が増したなど困ったことも増えている。排気ガスによって空気が汚れるということもあると聞いてビックリした。</p>		